

2019年度第2四半期決算の概要 及び 2019年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2019年11月6日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2019年度第2四半期決算の概要	
1) 2019年度第2四半期 事業概況及びトピックス	…1
2) 決算の概要	…2、3
3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	…4
4) 営業外損益及び特別損益の内訳	…5
5) 貸借対照表	…6
6) キャッシュ・フロー計算書	…7
2. 2019年度業績予想の概要	
1) 2019年度第3四半期以降のトピックス	…8
2) 業績予想の概要	…9
3) セグメント別 売上高・営業利益の予想（対前年決算）	…10
4) セグメント別 営業利益の予想（19年度上下増減）	…11
5) 営業外損益及び特別損益の内訳	…12、13
6) キャッシュ・フロー計算書	…14
7) 連結経営データ	…15
3. 補助資料	…16~25

1. 2019年度第2四半期決算の概要

1) 2019年度第2四半期 事業概況及びトピックス

<事業概況>

- ◆**モビリティ**：グローバルな自動車生産の減速がある中、エラストマー、機能性コンパウンドの販売は減少したが、ポリプロピレン・コンパウンドは主に日系顧客向けを中心に販売を維持。また機能性ポリマーも、全般としてICT関連需要が停滞する中で、確実な需要に的確に対応した。
- ◆**ヘルスケア**：ビジョンケア材料、歯科材料の販売は堅調に推移。不織布は、日本からの紙おむつの輸出減の影響を受けた。
- ◆**フード&パッケージング**：コーティング・機能材の販売は安定的に推移。機能性フィルム・シートは、包装用フィルム分野の販売が減少したが、産業用フィルム分野の販売は堅調に推移。農薬は需要は堅調に推移したものの、販売は時期ずれ等により減少した。
- ◆**基盤素材**：内需堅調継続。ナフサクラッカー等の稼働は、市原工場の設備不具合や台風による影響で低下したものの、概ね高水準で推移。オレフィン及びフェノールの海外市況は前年を下回る水準で推移。

<第2四半期のトピックス>

- ・日本におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン（GFPP）「モストロン[®] - L」営業運転開始（19年9月、3,500トン/年）

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-9月決算	19年度 4-9月決算	増減	増減率
売上高	7,209	6,749	△ 460	△6%
営業利益	497	345	△ 152	△31%
営業外損益	87	△ 19	△ 106	—
経常利益	584	326	△ 258	△44%
特別損益	△ 27	△ 93	△ 66	—
税金等調整前 四半期純利益	557	233	△ 324	△58%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	418	118	△ 300	△72%
為替レート(円/US\$)	110	109	△ 1	
国産ナフサ(円/KL)	51,150	42,800	△ 8,350	
中間配当	50 円/株	50 円/株	+0円/株	—

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	19年3月末	19年9月末	増減	増減率
有利子負債	4,850	5,018	168	3%
Net 有利子負債	3,740	3,779	39	1%
自己資本	5,519	5,460	△ 59	△1%
Net D / E レシオ (倍)	0.68	0.69	0.01	—
自己資本比率 (%)	36.8	37.0	0.2	—

(単位：社)

摘 要	19年3月末	19年9月末	増減
連結対象会社数			
連結子会社	116	116	0
持分法適用会社	39	39	0
連結対象会社計	155	155	0

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	18年度 4-9月決算	19年度 4-9月決算	増減	18年度 4-9月決算	19年度 4-9月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	1,952	1,875	△ 77	201	198	△ 3	△ 3	11	△ 11
ヘルスケア	712	697	△ 15	63	60	△ 3	0	6	△ 9
フード & パッケージング	966	930	△ 36	88	79	△ 9	△ 13	10	△ 6
基盤素材	3,463	3,158	△ 305	184	49	△ 135	△ 13	△ 120	△ 2
その他	116	89	△ 27	△ 39	△ 41	△ 2	-	-	△ 2
合計	7,209	6,749	△ 460	497	345	△ 152	△ 29	△ 93	△ 30
成長3領域	3,630	3,502	△ 128	352	337	△ 15			

4) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益 (単位：億円)

摘 要	18年度 4-9月決算	19年度 4-9月決算	増減
持分法投資損益	86	28	△ 58
金融収支	△ 3	△ 4	△ 1
為替差損益	8	△ 6	△ 14
その他の	△ 4	△ 37	△ 33
営業外損益 合計	87	△ 19	△ 106

特別損益 (単位：億円)

摘 要	18年度 4-9月決算	19年度 4-9月決算	増減
資産売却益	2	5	3
事業譲渡益	7	-	△ 7
特別利益計 (A)	9	5	△ 4
固定資産処分・売却損	12	12	0
減損損失	7	7	0
投資有価証券評価損	2	0	△ 2
出資金評価損	-	73	73
関連事業損失	-	6	6
火災による損失	15	-	△ 15
特別損失計 (B)	36	98	62
特別損益 合計 (A-B)	△ 27	△ 93	△ 66

5) 貸借対照表

(単位：億円)

摘 要	19年3月末	19年9月末	増減	摘 要	19年3月末	19年9月末	増減
流動資産	(7,867)	(7,389)	(△ 478)	負債	(8,694)	(8,503)	(△ 191)
現 預 金	1,111	1,238	127	買 掛 債 務	1,639	1,359	△ 280
売 掛 債 権	3,106	2,580	△ 526	有 利 子 負 債	4,850	5,018	168
た な 卸 資 産	3,019	2,936	△ 83	そ の 他	2,205	2,126	△ 79
そ の 他	631	635	4				
固定資産	(7,144)	(7,350)	(206)	純 資 産	(6,317)	(6,236)	(△ 81)
有形固定資産	4,431	4,708	277	株 主 資 本	5,329	5,348	19
無形固定資産	294	292	△ 2	その他の包括利益累 計 額	190	112	△ 78
投 資 等	2,419	2,350	△ 69	非支配株主持分	798	776	△ 22
合 計	15,011	14,739	△ 272	合 計	15,011	14,739	△ 272

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-9月決算	19年度 4-9月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	535	745	210
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 268	△ 417	△ 149
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	267	328	61
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 120	△ 191	△ 71
IV. その他	6	△ 13	△ 19
現預金等増減	153	124	△ 29

2. 2019年度業績予想の概要

1) 2019年度第3四半期以降のトピックス

<トピックス(予定)>

- ・台湾における半導体製造工程用テープ「イクロステープ™」 営業運転開始
(19年11月、380万m²/年)
- ・北米におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン 生産設備完工
(19年10月、3,500トン/年、20年度第1四半期 営業運転開始予定)
- ・北米におけるミラストマー 営業運転開始 (19年度第4四半期、6,000トン/年)

2) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘要	18年度決算 (a)		19年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		19年度前予想 (19.8.1発表)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度	%	4-9月	年度
売上高	7,209	14,829	6,749	13,650	△ 1,179	△8%	6,850	15,400
営業利益	497	934	345	840	△ 94	△10%	380	1,050
営業外損益	87	96	△ 19	△ 50	△ 146	-	△ 20	50
経常利益	584	1,030	326	790	△ 240	△23%	360	1,100
特別損益	△ 27	23	△ 93	△ 130	△ 153	-	△ 30	△ 50
税金等調整前 当期純利益	557	1,053	233	660	△ 393	△37%	330	1,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	418	761	118	420	△ 341	△45%	200	760
為替レート(円/US\$)	110	111	109	109	△ 2		110	110
国産ナフサ(円/KL)	51,150	49,400	42,800	41,900	△ 7,500		42,700	46,000

配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	+0円/株	+0円/株	50 円/株	50 円/株
通期 100 円/株		通期 100 円/株		通期 +0円/株		通期 100 円/株		

3) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	18年度決算		19年度予想		増減 (b) - (a)	18年度決算		19年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,952	3,954	1,875	3,850	△ 104	201	427	198	410	△ 17
ヘルスケア	712	1,466	697	1,450	△ 16	63	136	60	145	9
フード & パッケージング	966	1,994	930	2,000	6	88	178	79	195	17
基盤素材	3,463	7,165	3,158	6,150	△ 1,015	184	278	49	175	△ 103
その他	116	250	89	200	△ 50	△ 39	△ 85	△ 41	△ 85	0
合計	7,209	14,829	6,749	13,650	△ 1,179	497	934	345	840	△ 94

4) セグメント別 営業利益の予想 (19年度上下増減)

(単位：億円)

セグメント	営業利益			主要増減内訳 (営業利益)
	上期 (4-9月)	下期(予想) (10-3月)	増減	
モビリティ	198	212	14	拡販(+)、交易(-)等
ヘルスケア	60	85	25	拡販(+)
フード & パッケージング	79	116	37	拡販(+)
基盤素材	49	126	77	交易(+)、上期定修・トラブル影響(+) コスト期ずれ(-)等
その他	△ 41	△ 44	△ 3	
合計	345	495	150	

基盤素材セグメント

	売上高割合 (%)	営業利益の方向感 上期 → 下期(予想)	
		→	
石化原料 及び ポリオレフィン	55%	→	交易(+)、上期定修・トラブル影響(+)、 コスト期ずれ(-)等
フェノール、PTA・ PET、工業薬品	40%	→	交易(+)、上期トラブル影響(+)
ポリウレタン材料	5%	→	

注) セグメント内訳の数値は、説明を目的とした概算値です。

5) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
持分法投資損益	86	108	28	30	△ 78
金融収支	△ 3	△ 7	△ 4	△ 15	△ 8
為替差損益	8	△ 4	△ 6	△ 6	△ 2
その他の	△ 4	△ 1	△ 37	△ 59	△ 58
営業外損益 合計	87	96	△ 19	△ 50	△ 146

5) 営業外損益及び特別損益の内訳

特別損益

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
資 産 売 却 益	2	37	5	5	△ 32
事 業 譲 渡 益	7	7	-	-	△ 7
受 取 保 険 金	-	114	-	-	△ 114
特別利益計 (A)	9	158	5	5	△ 153
固定資産処分・売却損	12	44	12	49	5
減 損 損 失	7	14	7	7	△ 7
投資有価証券評価損	2	2	0	0	△ 2
出 資 金 評 価 損	-	-	73	73	73
関 連 事 業 損 失	-	-	6	6	6
火 災 に よ る 損 失	15	75	-	-	△ 75
特別損失計 (B)	36	135	98	135	0
特別損益 合計 (A-B)	△ 27	23	△ 93	△ 130	△ 153

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)	19年度 前回予想 (19.8.1発表)	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	535	1,095	745	1,300	205	530	1,250
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 268	△ 643	△ 417	△ 1,100	△ 457	△ 530	△ 1,200
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	267	452	328	200	△ 252	0	50
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 120	△ 141	△ 191	△ 300	△ 159	△ 200	△ 150
IV. その他	6	△ 1	△ 13	-	1	-	-
現預金等増減	153	310	124	△ 100	△ 410	△ 200	△ 100

7) 連結経営データ

項 目		18年度決算		19年度予想	
		4-9月	年度	4-9月	年度
為 替 レ - ト	円/\$	110	111	109	109
国産標準ナフサ価格	円/KL	51,150	49,400	42,800	41,900
設 備 投 資 額	億円	245	619	355	1,000
研 究 開 発 費	億円	177	358	182	380
減 価 償 却 費	億円	243	495	256	530
金 融 収 支	億円	△ 3	△ 7	△ 4	△ 15
期末有利子負債残高	億円	4,670	4,850	5,018	5,020
Net D/Eレシオ	倍	0.67	0.68	0.69	0.70
期 末 従 業 員 数	人	17,640	17,743	18,126	18,200

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上高・営業利益）
- 3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 主要関係会社の状況
- 5) 財務データ
- 6) 地域別売上高比率

1) 製品価格の状況

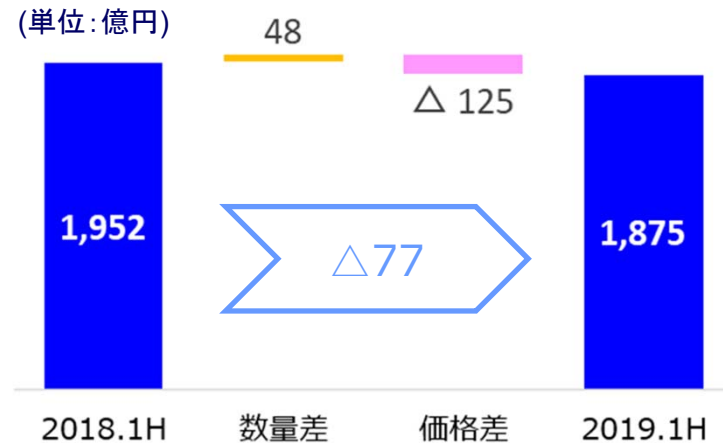
(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2016年	2017年				2018年				2019年		
月		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
国産標準 力価価格	(円/KL)	34,100	41,900	39,100	36,100	44,600	47,900	48,800	53,500	54,200	41,200	45,400	40,200
PE国内	(円/KG)	→	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→
PP国内	(円/KG)	→	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度	→
PH国内 (フォーム価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$670	\$950	\$790	\$770	\$830	\$920	\$850	\$860	\$770	\$580	\$620	\$660
BPA国内	(円/KG)	→	+20円 (3月~)	→	→	→	→	→	→	→	→	△15円 (4月~)	→
BZ・BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,170	\$1,360	\$1,200	\$1,220	\$1,420	\$1,670	\$1,800	\$1,810	\$1,550	\$1,450	\$1,410	\$1,190
PTA 中国市況	(\$/T)	\$610	\$670	\$630	\$640	\$690	\$760	\$810	\$960	\$910	\$840	\$790	\$700
PX (*ACP)	(\$/T)	\$790	\$890	\$810	\$800	\$890	\$950	\$980	\$1,140	\$1,140	\$1,060	\$910	\$810
TDI 中国市況	(\$/T)	\$3,590	\$3,480	\$3,500	\$3,680	\$4,380	\$4,470	\$4,150	\$3,400	\$2,480	\$1,730	\$1,790	\$1,610

*ACP アジア圏契約価格

2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)



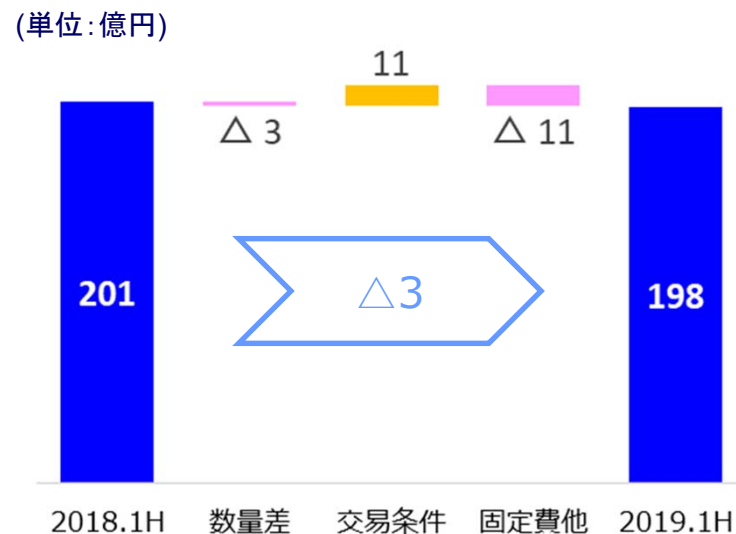
◆数量差 +48億円

- ・エラストマー、機CPIはグローバル自動車生産の減速の影響を受けた。
- ・PPCPDは日系顧客向け中心に販売を維持等。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

◆価格差 △125億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定等。

営業利益増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)



◆数量差 △3億円

- ・エラストマー、機CPIはグローバル自動車生産の減速の影響を受けた。
- ・PPCPDは日系顧客向け中心に販売を維持。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

◆交易条件 +11億円

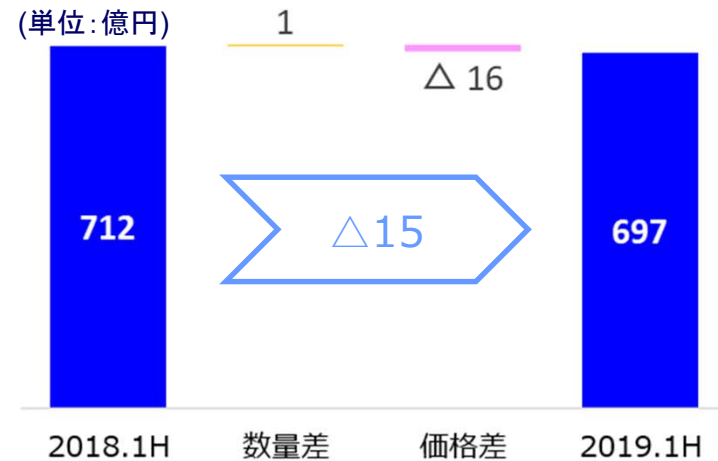
- ・原料価格下落等による交易条件改善等。

◆固定費他 △11億円

- ・研究開発費等の資源投入。
- ・在庫固定費影響等。

2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)

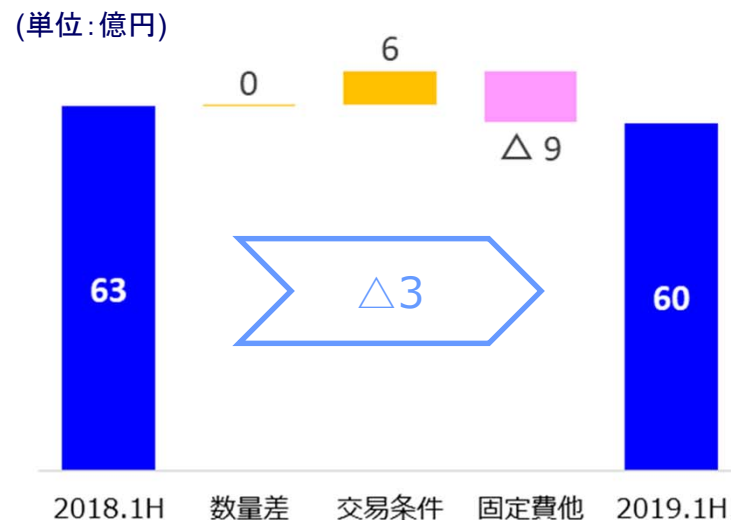


◆数量差 +1億円

- ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。
- ・不織布の販売減少等。

◆価格差 △16億円

営業利益増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)



◆数量差 ±0億円

- ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。
- ・不織布の販売減少等。

◆交易条件 +6億円

- ・原料価格下落等による交易条件改善等。

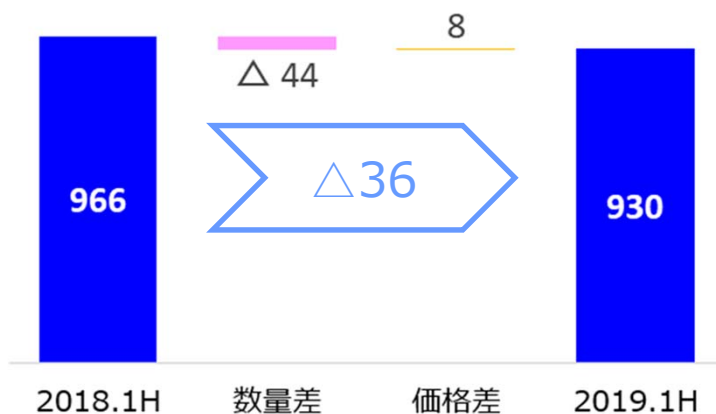
◆固定費他 △9億円

- ・不織布の減価償却費の増加等。

2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)

(単位: 億円)



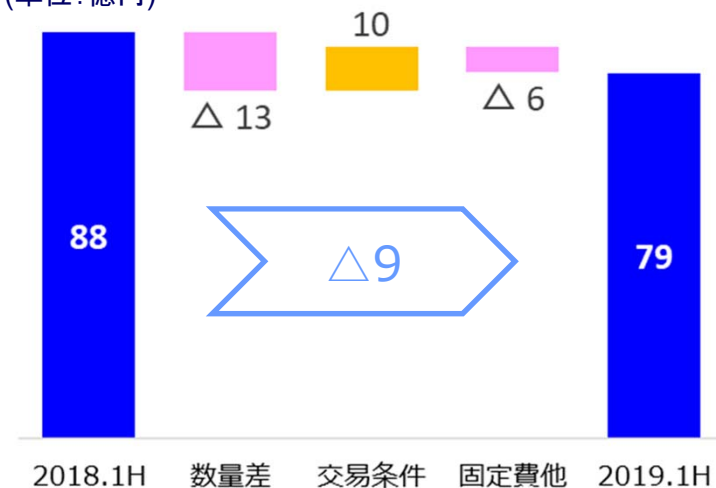
◆数量差 Δ 44億円

- ・産業用フィルムの販売堅調。
- ・包装フィルムの販売減少。
- ・販売時期ずれによる農薬の減販等。

◆価格差 +8億円

営業利益増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)

(単位: 億円)



◆数量差 Δ 13億円

- ・産業用フィルムの販売堅調。
- ・包装フィルムの販売減少。
- ・販売時期ずれによる農薬の減販等。

◆交易条件 +10億円

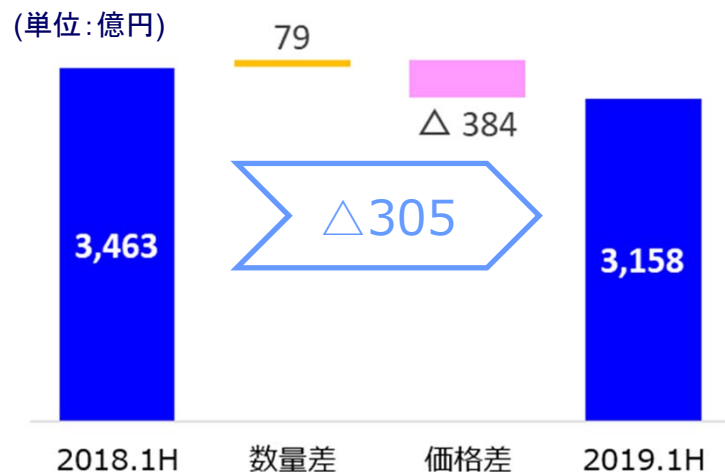
- ・原料価格下落等による交易条件改善等。

◆固定費他 Δ 6億円

- ・研究開発費の資源投入等。

2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)

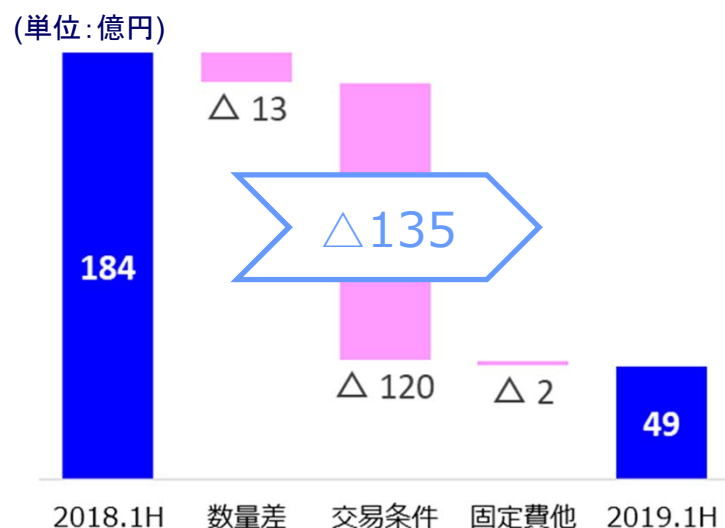


◆数量差 +79億円

◆価格差 △384億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定。
- ・海外市況下落等。

営業利益増減 (2019年度上期 対 2018年度上期)



◆数量差 △13億円

◆交易条件 △120億円

- ・海外市況下落。
- ・在庫評価差等。

◆固定費他 △2億円

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (四半期別)

売上高推移

(単位：億円)

セグメント	18年度				19年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
モビリティ	973	979	993	1,009	941	934
ヘルスケア	362	350	385	369	352	345
フード&パッケージング	475	491	499	529	456	474
基盤素材	1,701	1,762	1,994	1,708	1,635	1,523
その他	52	64	68	66	44	45
合計	3,563	3,646	3,939	3,681	3,428	3,321

営業利益推移

(単位：億円)

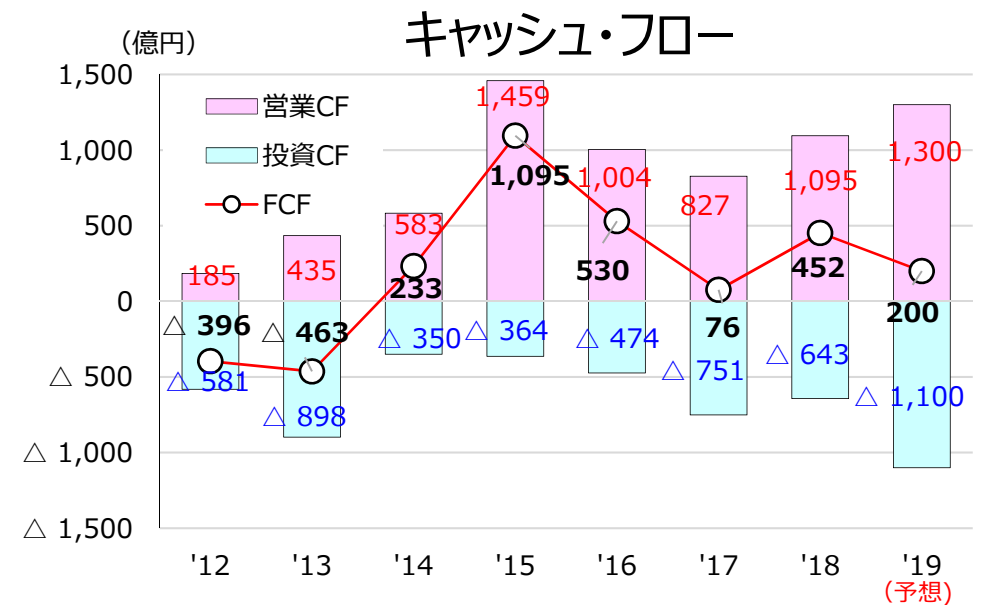
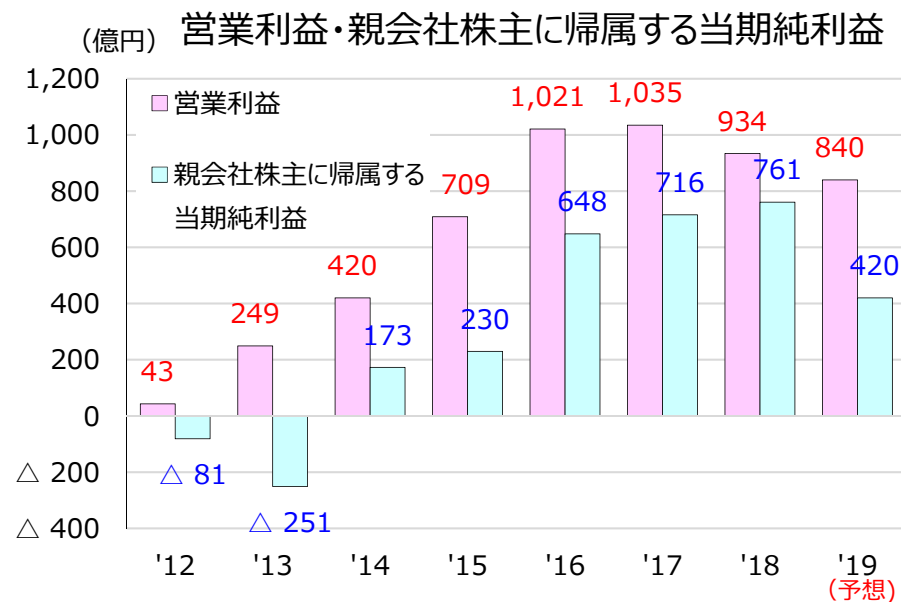
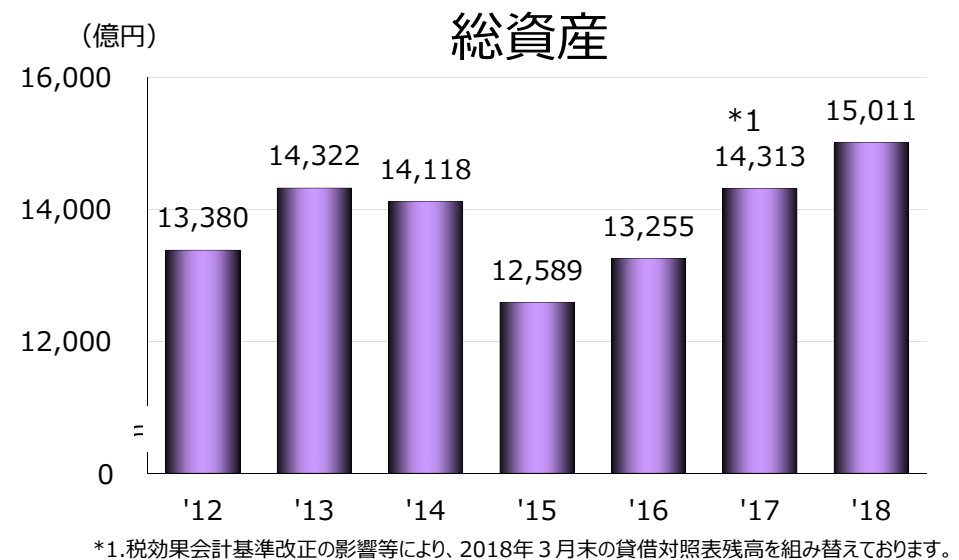
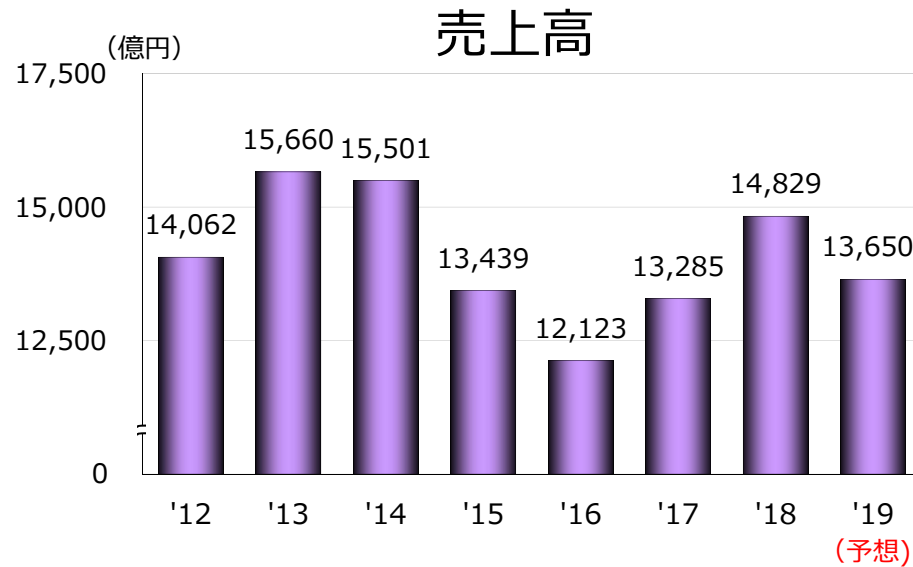
セグメント	18年度				19年度	
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月
モビリティ	108	93	114	112	101	97
ヘルスケア	36	27	34	39	38	22
フード&パッケージング	33	55	30	60	33	46
基盤素材	110	74	91	3	61	△ 12
その他	△ 24	△ 15	△ 20	△ 26	△ 26	△ 15
合計	263	234	249	188	207	138

4) 主要関係会社の状況

項目	当社シェア	売上規模 (18年度)	営業利益	
			18年度	19年度予想 ※
連結子会社	%	億円		
プライムポリマー	65.0	2,600	黒字	→ 在庫影響等(-)
アドバンスド・コンポジット	61.8	900	黒字	→ 交易条件(-)
三井フェノールズシンガポール	95.0	600	黒字	→ 交易条件(-)
三井エラストマーズシンガポール	100.0	500	黒字	→
三井化学東セロ	100.0	800	黒字	→
三井化学アグロ	100.0	400	黒字	→ 研究開発費等(-)
持分法適用会社				
三井・ダウ・リミカル	50.0	400	黒字	→
三井・ケムズ・フロンティア	50.0	300	黒字	→ 数量(-)
上海中石化三井化工	50.0	500	黒字	→ 交易条件(-)

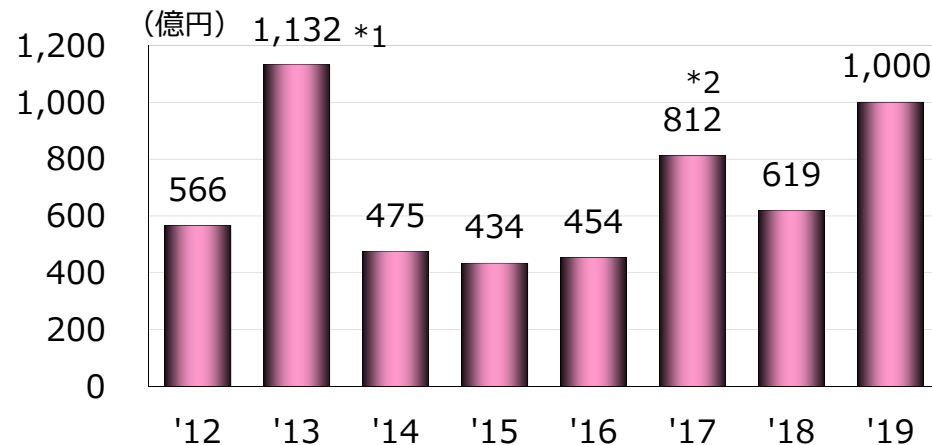
※ 営業利益：→は、対18年度5億円未満の増減。

5-1) 財務データ



5-2) 財務データ

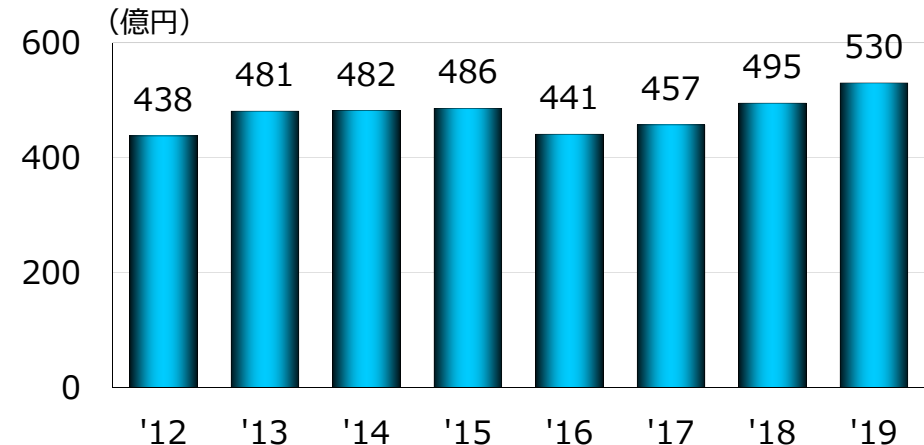
設備投資額



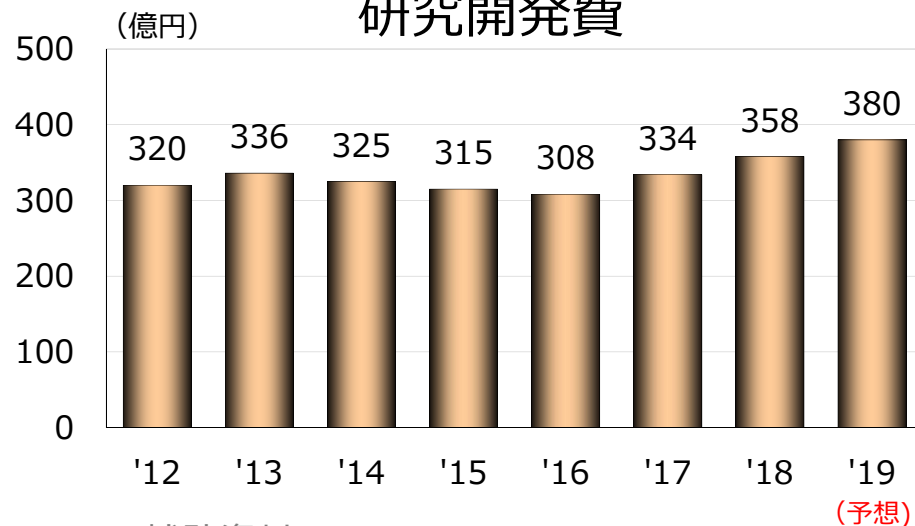
*1. ヘルス社歯科材料事業買収影響 (560億円) を含む

*2. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

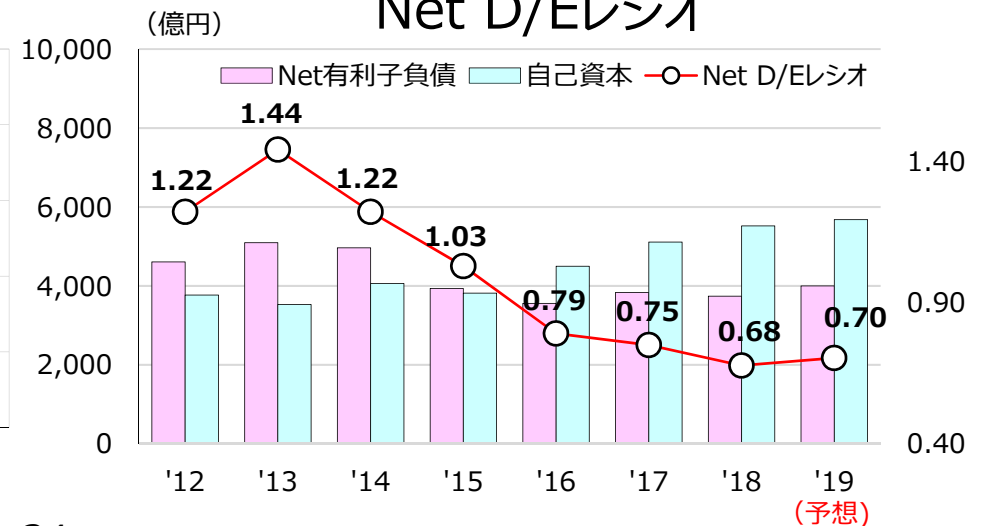
減価償却費



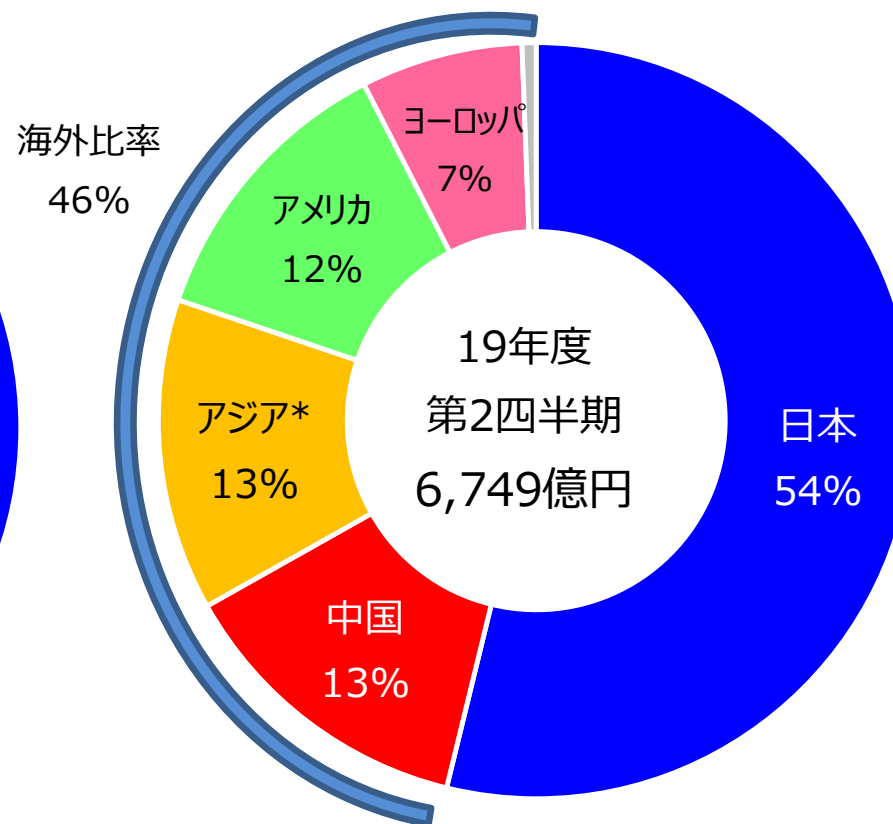
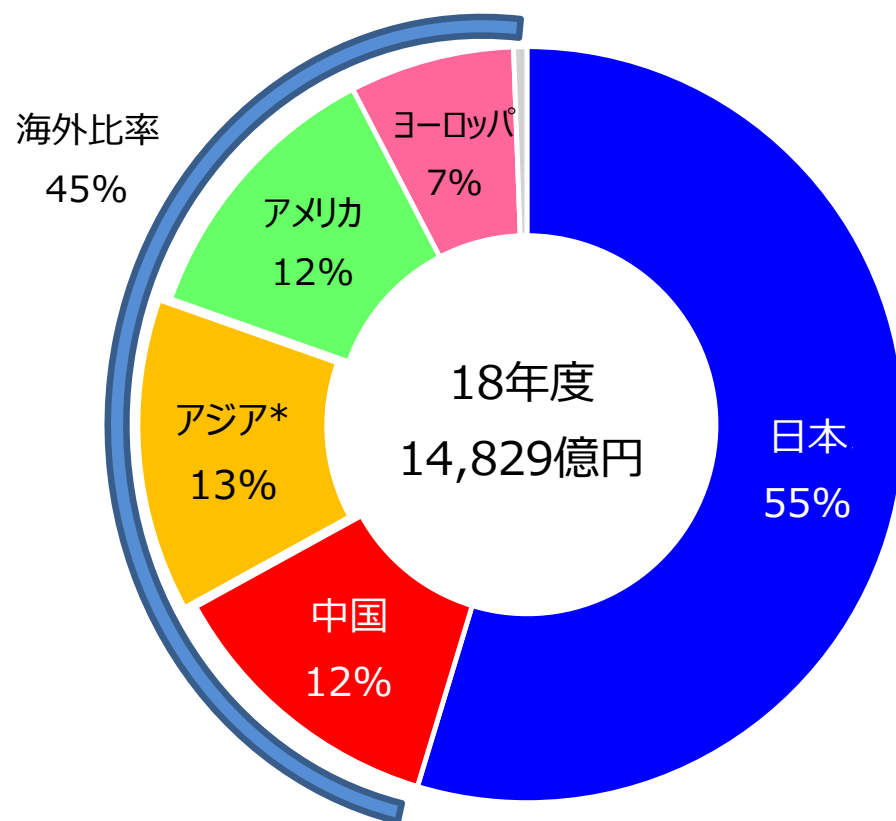
研究開発費



Net D/Eレシオ



6) 地域別売上高比率



* アジア：日本及び中国を除く



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する